

放課後等デイサービスよよぎ松山校

災害対策計画

はなのき株式会社

1 防災計画

【防火防災役割分担】

通報連絡担当者 立岩直樹（防火防災管理責任者/管理者）

初期消火担当者 原塚優子（児童発達支援管理責任者）

避難誘導担当者 田川夏海（指導員）

日常的自主検査実施担当者 原塚優子・田川夏海

定期自主検査実施担当者 原塚優子

【火気設備器具】

- ① 火気設備器具の周辺は、よく整理清掃して可燃物を接して置かない
- ② 火気設備器具は常に監視できる状態で使用し、その場を離れる時は必ず消す
- ③ 火気設備器具取扱い注意事項を守り、故障又は破損した状態で使用しない
- ④ 地震時には、火気設備器具の使用を中止する
- ⑤ 終業時には、火気設備器具の点検を行い、安全を確認する

【避難施設設備の維持管理】

- ① 避難口、廊下、階段には避難障害となる物を設けたり物品を置かない
- ② 出入り口付近には、常に閉鎖の障害となる物品を置かない
- ③ 非常口表示灯は常に点灯させる

【放火等の防止対策】

- ① 建物の外周部及び敷地内には、紙類等の可燃物を放置しない
- ② 倉庫などを使用しない時は施錠しておく
- ③ ゴミ類の廃棄可燃物は、定められた時間に、指定場所に持って行く
- ④ 事業所外の不審者に対して注意を払う

【災害発生時用備蓄品】

- ① 断水に備え飲料水を確保するペットボトル 2 L 1 2 本
- ② 救急カレー 3 0 食
- ③ 救急箱

【喫煙】※施設内禁煙

- ① 喫煙は、指定された場所で、吸殻入れを用いる
- ② タバコの吸殻は必ず消火する容器に捨て、可燃ゴミの中には入れない
- ③ 終業時には、吸殻の確認を確実に行う

2 営業中の災害発生時対応（児童を伴っているときの対応）

※児童が不安にならないように、職員は常に落ち着いて行動する

1、避難指示は児童発達支援管理責任者（原塚優子）がリーダーシップを持って行う

- ① 児童の安全確保を最優先にする
- ② 保護者との連絡手段を複数回路確保しておき有事に備える
（電話連絡・ライン・メール・ホームページなど）
- ③ 避難が必要な場合、避難場所は諏訪小学校とする。

2、児童の避難準備

- ① 危険が予想される状況になったら、すぐに出発出来るように児童と職員は持ち物を準備する
（忘れ物が無いように）
- ② 避難後の連絡方法や今後の見通しについて児童に説明を行う

3、保護者への連絡

児発管（児童発達支援管理責任者）は、個別資料持ち出し準備をする
事前に施設管理責任者は、緊急連絡一覧を作成し携帯できるようにしておく

- ① 自宅へお届け、緊急連絡先へお届け、それ以外へのお届けかを確認する
- ② 保護者は何時頃児童と合流できる予定か確認し児童に伝え安心させる
- ③ 同乗者等の確定後ルートを設定し、何時頃到着予定かを保護者に伝える

4、送迎時の注意

- ① 児童の安全を最優先にして送り届ける
- ② 極力複数名の職員で送る
- ③ 場合によっては直帰となるが、送迎状況報告は必ず行う

5、利用児童保護者との連絡・安否確認

- ① 安全が確保されてから、当日来所していない利用児童の安否について保護者への確認を行う
- ② 今後の開所予測について伝える

3 安全点検実施要領

- 1, 実施日毎月、第1金曜日9時半より（朝の打合せ終了後で定例会議前）
- 2, 実施方法点検票により実施
 - ① 担当箇所の安全・清潔・異常の有無を点検し記録する
 - ② 経営会議の中で共通理解を図り改善方法を検討する
 - ③ 防災担当者は点検簿を管理し、施設責任者は異常箇所改善を指示する